

平松政次氏 プロフィール

平松政次氏は、昭和22年9月19日に岡山県上房郡高梁町（現高梁市）に生誕され、昭和38年3月に高梁中学校を卒業後、同年4月に岡山県立岡山東商業高等学校に入学されました。

高校3年生の時に、第37回選抜高等学校野球大会に出場され、全試合完投のうえ優勝、岡山県勢初の全国制覇を成し遂げられました。平松氏がこのとき打ちた39イニング連続無失点の記録は、今でも破られていません。

昭和41年に日本石油株式会社へ入社されると、その翌年に開催された第38回都市対抗野球大会で最高殊勲選手に贈られる橋戸賞を受賞されるなどの活躍をされ、チームを優勝に導かれました。

昭和42年にプロ野球の大洋ホエールズへ入団されると、昭和45年には25勝を挙げ、最多勝利投手のタイトルとともに沢村賞を受賞されました。その後も12年連続2桁勝利を挙げるなど、優れた投球術と平松氏の代名詞となった「カミソリシュート」を武器に、エースとしてチームを支えられました。

昭和58年には通算200勝を達成され名球会入り、昭和59年の現役引退までに通算201勝を挙げられました。こうした活躍が評価され、平成29年1月に日本野球界最高の栄誉である「野球殿堂入り」を果たされました。

引退後は野球解説者として活躍するかたわら、平成18年にはNPO法人横浜ベイスターズ・スポーツコミュニティの初代理事長として、スポーツを通じた地域貢献に尽力されました。

また、本市においても、平成6年から毎年開催されている平松政次旗学童軟式野球大会を主管され、野球を通じた青少年の健全育成に尽力されておられます。さらに、平成18年より高梁市市政アドバイザーとして、市政に対しご助言・ご提言をいただくなど、地域発展・地域振興にもご尽力をいただいております。

平成29年10月には、市民から郷土の誇りとして敬愛され、市民に夢と希望を与えたとして、初の高梁市市民栄誉賞を受賞されました。



「平松政次球場」 愛称命名の経過

平成30年8月、平松政次氏のご功績により、市内野球2団体から、「高梁市神原スポーツ公園野球場」の愛称を、「平松政次球場」に命名する要望があり、要望書が高梁市と高梁市教育委員会に提出されました。

この要望を受け、高梁市教育委員会から高梁市スポーツ推進審議会に諮問したところ、「平松政次球場」に愛称を命名することについては、適当であるとの建議（意見）をいただきました。

平成30年9月、審議会の建議（意見）を受け、本人のご了解のもと、高梁市と高梁市教育委員会では、平松政次氏のご功績を次世代に末永く伝え顕彰するとともに、学童野球のメッカとする等、野球を通じて高梁市を全国にPRし、高梁市のスポーツ推進を図っていくことを目的として、「高梁市神原スポーツ公園野球場」の愛称を、「平松政次球場」に命名することに致しました。



平松政次氏 経 歴

- ・昭和22年 9月 岡山県上房郡高梁町（現高梁市）に生まれる
- ・昭和38年 3月 高梁市立高梁中学校卒業
- ・昭和38年 4月 岡山県立岡山東商業高等学校入学
- ・昭和40年 4月 第37回選抜高等学校野球大会優勝
- ・昭和41年 3月 岡山県立岡山東商業高等学校卒業
- ・昭和41年 4月 日本石油株式会社入社
- ・昭和42年 8月 第38回都市対抗野球大会優勝
橋戸賞（大会MVP）受賞
- ・昭和42年 8月 日本石油株式会社退社
- ・昭和42年 8月 大洋ホエールズ入団
- ・昭和45年 最多勝利投手賞、ベストナイン、沢村賞受賞
- ・昭和46年 最多勝利投手賞、ベストナイン受賞
- ・昭和54年 最優秀防御率投手賞受賞
- ・昭和58年10月 通算200勝達成、名球会入会
- ・昭和59年11月 現役引退（通算勝利数201勝）
- ・平成6年10月 第1回平松政次旗学童軟式野球大会開催
- ・平成18年 7月 高梁市市政アドバイザー（現在に至る）
- ・平成29年 1月 野球殿堂表彰
- ・平成29年10月 高梁市市民栄誉賞受賞



<野球殿堂入り記念レリーフ（レプリカ）>

～プロ野球 大洋ホエールズ 主な成績と記録 背番号27～

- ・通算成績 201勝196敗16セーブ
奪三振2045・防御率3.31
145完投・28完封
- ・獲得したタイトル 最多勝2回
最優秀防御率1回
ベストナイン2回
沢村賞1回
- ・主な記録 投手で3試合連続ホームラン
開幕戦 通算5勝
開幕戦4年連続完投
1シーズン20勝以上 1回
1シーズン10勝以上 12年連続12回
1試合の最小投球数73球
対巨人戦通算51勝
オールスター8回出場